

令和元年産畑作物共済の実績（概要）について

1 ばれいしょ

(1) 引受実績

引受戸数は5.5千戸（対前年95.6%）、引受面積は42.1千ha（対前年97.9%）、共済金額は42,095百万円（対前年101.3%）であり、面積引受率は77.8%となっている。

なお、ばれいしょについては、北海道の引受が面積ベースで9割以上を占めており、引受戸数は5.4千戸、引受面積は42.0千ha、共済金額は41,994百万円であり、面積引受率は84.7%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.9千戸（うち北海道0.9千戸）、同面積は4.1千ha（うち北海道4.1千ha）、共済金支払額は438百万円（うち北海道435百万円）となった。

被害率は、戸数被害率が16.4%。金額被害率は1.0%であり、平均共済掛金率（3.5%）と比べると低い被害率となっている。なお、北海道の金額被害率は1.0%であり、主な被害は雨害湿潤害、干害であった。

2 大豆

(1) 引受実績

引受戸数は25千戸（対前年87.9%）、引受面積は99.7千ha（対前年84.9%）であり、引受面積の上位3県は北海道（33.3千ha）、福岡県（7.4千ha）、宮城県（7.2千ha）となっている。また、共済金額は44,366百万円（対前年85.0%）であり、面積引受率は69.0%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は12.7千戸、同面積は45.2千ha、共済金は5,243百万円となった。

被害率は、戸数被害率が50.9%。金額被害率は11.8%であり、平均共済掛金率（8.3%）と比べると高い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、千葉県（52.6%）、佐賀県（39.2%）、福島県（31.4%）であり、主な被害は風水害、土壌湿潤害などであった。

3 小豆

(1) 引受実績

引受戸数は4.4千戸（対前年100.5%）、引受面積は17.9千ha（対前年109.9%）、共済金額は10,725百万円（対前年120.9%）であり、面積引受率は83.2%となっている。

なお、小豆については、北海道の引受が面積ベースで9割以上を占めており、引受戸数は4.1千戸、引受面積は17.7千ha、共済金額は10,647百万円であり、面積引受率は84.6%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.5千戸（北海道0.4千戸）、同面積は1.6千ha（北海道1.5千ha）、共済金は172百万円（北海道168百万円）となった。

被害率は、戸数被害率が10.3%。金額被害率は1.6%であり、平均共済掛金率（6.7%）と比べると低い被害率となっている。なお、北海道の金額被害率は1.6%であり、主な被害は干害、冷潤害であった。

4 いんげん

(1) 引受実績

引受実績があったのは北海道のみで、引受戸数は1.5千戸（対前年93.4%）、引受面積は5.6千ha（対前年92.5%）、共済金額は3,048百万円（対前年125.3%）であり、面積引受率は88.6%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.3千戸、同面積は1.3千ha、共済金は123百万円となった。

被害率は、戸数被害率が23.2%。金額被害率は4.1%で平均共済掛金率（11.7%）と比べると低い被害率となっており、主な被害は干害、冷潤害であった。

5 てん菜

(1) 引受実績

引受実績があったのは北海道のみで、引受戸数は6.2千戸（対前年96.7%）、引受面積は52.3千ha（対前年98.2%）、共済金額は53,158百万円（対前年101.7%）であり、面積引受率は92.2%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.6千戸、同面積は5.7千ha、共済金は366百万円となった。

被害率は、戸数被害率が9.4%。金額被害率は0.7%で平均共済掛金率（4.5%）と比べると低い被害率となっており、主な被害は雨害湿潤害、風害であった。

6 さとうきび

(1) 引受実績

引受戸数は8.2千戸（対前年88.3%）、引受面積は10.3千ha（対前年88.5%）、共済金額は9,083百万円（対前年92.6年%）であり、面積引受率は46.6%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は2.3千戸、同面積は2.5千ha、共済金は344百万円となった。

被害率は、戸数被害率が28.4%（沖縄県36.6%、鹿児島県17.2%）。金額被害率は3.8%（沖縄県5.6%、鹿児島県1.7%）で平均共済掛金率（6.0%）と比べると低い被害率となっており、主な被害は風水害であった。

7 茶

(1) 引受実績

引受戸数は0.5千戸（対前年72.0%）、引受面積は0.3千ha（対前年59.9%）、共済金額は400百万円（対前年58.0%）であり、面積引受率は1.8%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.2千戸、同面積は0.1千ha、共済金は34百万円となった。

被害率は、戸数被害率が41.0%。金額被害率は8.5%であり、平均共済掛金率（4.3%）と比べると高い被害率となっている。金額被害率が高かったのは、京都府（16.5%）、奈良県（15.1%）であり、主な被害は凍霜害であった。

8 そば

(1) 引受実績

引受戸数は3.8千戸（対前年91.3%）、引受面積は21.3千ha（対前年88.5%）であり、引受面積の上位3県は北海道（15.4千ha）、福井県（2.2千ha）、山形県（1.5千ha）となっている。また、共済金額は4,648百万円（対前年85.6%）であり、面積引受率は45.5%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.8千戸、同面積は4.2千ha、共済金は242百万円となった。

被害率は、戸数被害率が20.8%。金額被害率は5.2%であり、平均共済掛金率（10.1%）と比べると低い被害率となっている。金額被害率が高かったのは、島根県（37.8%）、新潟県（8.8%）であり、主な被害は風水害、土壌湿潤害であった。

9 スイートコーン

(1) 引受実績

引受戸数は1.9千戸（対前年93.7%）、引受面積は5.9千ha（対前年93.9%）、共済金額は2,711百万円（対前年85.9%）であり、面積引受率は55.8%となっている。

なお、スイートコーンについては、北海道の引受が面積ベースで9割以上を占めており、引受戸数は1.7千戸、引受面積は5.6千ha、共済金額は2,185百万円であり、面積引受率は66.6%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は0.4千戸（北海道0.4千戸）、同面積は1.0千ha（北海道0.9千ha）、共済金は111百万円（北海道90百万円）となった。

被害率は、戸数被害率が21.6%。金額被害率は4.1%であり、平均共済掛金率（6.9%）と比べると高い被害率となっている。なお、北海道の金額被害率は4.1%であり、主な被害は雨害湿潤害、風水害であった。

10 たまねぎ

(1) 引受実績

引受実績があったのは北海道のみで、引受戸数は 1.4 千戸（対前年 90.5%）、引受面積は 10.5 千 ha（対前年 91.0%）、共済金額は 22,490 百万円（対前年 98.0%）であり、面積引受率は 71.9%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 0.1 千戸、同面積は 0.6 千 ha、共済金は 216 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 9.8%。金額被害率は 1.0%で平均共済掛金率（4.8%）と比べると低い被害率となっており、主な被害は干害であった。

11 かぼちゃ

(1) 引受実績

引受戸数は 1.5 千戸（対前年 95.1%）、引受面積は 3.6 千 ha（対前年 100.1%）、共済金額は 2,748 百万円（対前年 100.9%）であり、面積引受率は 46.9%となっている。

なお、かぼちゃについては、北海道の引受が面積ベースで 9 割以上を占めており、引受戸数 1.4 千戸、引受面積 3.6 千 ha、共済金額 2,612 百万円であり、面積引受率は 49.1%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 0.4 千戸（北海道 0.3 千戸）、同面積は 0.8 千 ha（北海道 0.8 千 ha）、共済金は 165 百万円（北海道 156 百万円）となった。

被害率は、戸数被害率が 24.3%。金額被害率は 6.0%で平均共済掛金率（8.3%）と比べると低い被害率となっている。なお、北海道の金額被害率は 6.0%であり、主な被害は雨害湿潤害、干害であった。

12 ホップ

(1) 引受実績

引受戸数は 0.1 千戸（対前年 80.3%）、引受面積は 0.1 千 ha（対前年 75.9%）、共済金額は 260 百万円（対前年 76.0%）であり、面積引受率は 79.4%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 13 戸、同面積は 9.8ha、共済金は 4 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 11.0%。金額被害率は 1.4%であり、平均共済掛金率（3.8%）と比べると低い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、山形県（4.3%）であり、主な被害は病害であった。

13 蚕繭

(1) 引受実績

引受戸数は 0.1 千戸（対前年 84.7%）、引受箱数は 1.6 千箱（対前年 73.0%）、共済金額は 99 百万円（対前年 74.4%）であり、引受率（箱数ベース）は 8.7%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 29 戸、同箱数は 134 箱、共済金は 2 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 19.5%。金額被害率は 2.4%であり、平均共済掛金率(1.1%)と比べると高い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、岐阜県(20.0%)、長野県(8.2%)、千葉県(7.0%)であり、主な被害は病害、風水害(千葉県 100%)、凍霜害(長野県 100%)であった。

【参考】用語の説明

- ・ 面積引受率：作付面積に対する引受面積の割合
- ・ 戸数被害率：引受戸数に対する被害戸数の割合
- ・ 金額被害率：共済金額に対する共済金の割合
- ・ 平均共済掛金率：共済金額に対する共済掛金の割合